

2024年11月13日
プレスリリース No.019-24

国際交流センター開設記念講演会 モードのジャポニスム -欧米を魅了した日本-

静岡文化芸術大学は、多文化を理解し、積極的に関わることができるグローバルな視野と地域の視点を併せ持った人材育成のため、2024年4月に「国際交流センター」を開設しました。同センターでは、留学を希望する学生を対象とした留学支援や、海外交流協定校との国際交流、学生の語学力向上と多文化共生に関する学生活動への支援をおこなっていきます。この度、同センターの開設を記念し、深井晃子氏を招き講演会「モードのジャポニスム」を開催します。

■講師紹介（深井晃子氏）

元静岡文化芸術大学教授※。キュレーター、服飾史家。

専門分野は近現代のファッション。お茶の水女子大学で西洋服飾史を専攻し（修士号取得）、パリ第4大学（芸術考古学研究所）で美術史を学ぶ。京都服飾文化研究財団（KCI）キュレーターとして京都、東京、パリ、ニューヨークなどで「モードのジャポニスム」、「Future Beauty：日本ファッションの30年」他のファッション展を開催し高い評価を得た。国際日本文化研究センター客員助教授、政策研究大学院大学客員教授、東京大学、立教大学講師を歴任。ファッションとジャポニスムの関係についての先駆的で広範な研究を行い、2000年に日本ジャポニスム学会より特別賞を受賞。

その他、お茶の水女子大学名誉博士号授与（2004）。文化庁長官表彰（2008）。京都市芸術文化功労章受賞（2011）。現在、京都服飾文化研究財団（KCI）理事・名誉キュレーター。

「ジャポニスム イン ファッション」（平凡社、1994年）、「ファッションの世紀」（平凡社、2005年）、「ファッションから名画を読む」（PHP研究所、2009年）、「きものとジャポニスム」（平凡社、2017年第39回ジャポニスム学会賞受賞）他、著書、翻訳、カタログ編集などがある。

※（本学初代芸術文化学科長、文化政策研究科長を歴任。現在は本学経営審議会委員）



■講演内容

現在のグローバル社会では、互いの文化・アイデンティティを尊重し、違いを認め合うことが、かつてないほど求められています。19世紀半ばから20世紀初め、欧米に「ジャポニスム」と呼ばれる波が広がりました。長い鎖国から海外に門戸を開けた日本に熱い視線が向けられ、日本文化が持つ異質な美への憧憬は様々なレベルで欧米の想像を掻き立て、啓示を与えました。そして、それは新たな創造のエネルギーへと転換していきました。日本の美意識は、マネ、ゴッホをはじめとする19世紀フランス美術に重要な影響を与え、日本のデザインはファッションをはじめとする欧米の生活の中に広く深く影響を及ぼしました。欧米を魅了し、今も魅了する日本とは何か？ファッションを例として見ていきます。それは、現代の私たちにとっても、異なる文化に触れ、自己の視野を広げ、新たな視点から物事を見ることが、新しい創造の可能性を開く鍵だと気づかせてくれるでしょう。

■実施概要

【日時】 2024 年 11 月 20 日（水） 13：00～14:30

【場所】 静岡文化芸術大学 講堂（浜松市中央区中央 2-1-1）

本学には駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。

【主催】 静岡文化芸術大学 国際交流センター

【備考】 入場無料

聴講には事前申し込みが必要です。本学ホームページからお申込みください。

<https://www.suac.ac.jp/event/03525/>

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 教務・学生室 学生支援係(国際交流センター)

Tel. 053-457-6121 / Fax. 053-457-6123

Email. gakusei@suac.ac.jp

公式 Web サイト



静岡文化芸術大学 国際交流センター講演会

モードのジャポニスム ———— 欧米を魅了する日本

Japonism in Fashion



お申し込みはこちらから▲

11 / 20 wed. 静岡文化芸術大学 講堂
13:00 - 14:30 (開場 12:30)

入場無料

講演者 深井 晃子 Akiko Fukai

京都服飾文化研究財団名誉キュレーター兼理事。

服飾の研究、展覧会企画などを手がける。静岡文化芸術大学元文化政策研究科長。

概要

現在のグローバル社会では、互いの文化・アイデンティティを尊重し、違いを認め合うことが、かつてないほど求められています。19世紀半ばから20世紀初め、欧米に「ジャポニスム」と呼ばれる波が広がりました。長い鎖国から海外に門戸を開けた日本に熱い視線が向けられ、日本文化が持つ異質な美への憧憬は様々なレベルで欧米の想像を掻き立て、啓示を与えました。そして、それは新たな創造のエネルギーへと転換していきました。日本の美意識は、マネ、ゴッホをはじめとする19世紀フランス美術に重要な影響を与え、日本のデザインはファッションを含めて欧米の生活の中に広く深く影響を及ぼしました。欧米を魅了し、今も魅了する日本とは何か？ファッションを例として見ていきます。それは、現代の私たちにとっても、異なる文化に触れ、自己の視野を広げ、新たな視点から物事を見ることが、新しい創造の可能性を開く鍵だと気づかせてくれるでしょう。

お申込み方法

申込みフォームよりお申込みください。
申込フォームからの予約が難しい場合は、お電話ください。
参加申込フォーム ▶ <https://forms.office.com/r/XReHrUBmXN>
申込締切 ▶ 11月13日(水)

お問い合わせ

静岡文化芸術大学 国際交流センター (教務・学生室)
TEL ▶ 053-457-6121 (平日9:00~17:00)
E-mail ▶ gakusei@suac.ac.jp

主催

静岡文化芸術大学国際交流センター
住所 ▶ 〒430-8533 静岡県浜松市中央区中央 2-1-1



静岡文化芸術大学
SHIZUOKA UNIVERSITY
OF ART AND CULTURE